
ヒアリング・ヴォイシズ京都ワークショップのご案内

日時：2015年7月25日（土） 14:00～17:00

場所：京都大学 総合人間学部棟1階1103講義室

参加費：会員500円 非会員1,000円 当事者・家族・学生500円

主催：日本臨床心理学会

共催：ヒアリング・ヴォイシズ研究会

日本臨床心理学会では、ヒアリング・ヴォイシズ（以下HV）を日本に紹介し、2000年の岡山大会では、HVの中心的存在の、マリウス・ロームさん、サンドラ・エッシャーさん、ロン・コールマンさんを招いての講演会を開催しました。その後、2002年の横浜での世界精神保健大会の折に、マリウス・ロームさん、フィル・トーマスさんの講演会を開催し、2010年には学会編の「幻聴の世界」を中央法規出版社より出版するなどしてきました。今回は、本学会が第51回大会のプレ企画として、ヒアリング・ヴォイシズ研究会と共に、京都でHVのワークショップを上記の日程で開催します。

HVでは、「幻聴」は、誰でも聞くことがあり、「幻聴」があることイコール精神疾患の症状ではないととらえています。薬で「幻聴」を抑えるという方法だけにとらわれることなく、「幻聴」によって生活を支配されないようにする、或いは「幻聴」を受容して、より自分らしい生き方を模索する方法を、ヴォイスヒアラー（声が聞こえる人）と一緒に考え探っていきます。現在は、ヒアリング・ヴォイシズ研究会が、岡山、大阪、東京の3か所で、ヴォイスヒアラーと一緒に考える例会を実施しています。なおHVでは、「幻聴」体験者の体験をありのままに尊重する意味から、「幻」の文字をはずし「聴声」とか「ヴォイス・ヒアリング」と呼称しています。

今回のワークショップでは、HVを日本に紹介した佐藤和喜雄さんに、HVの基本的考え方と「幻聴」への対処方法を中心にHVの概要を解説して頂き、その後、岡山、大阪、東京の3か所で行われているHVの定例会での活動内容を報告してもらいます。また、HV定例会に参加しているヴォイスヒアラーの人からも体験や定例会の感想などを語って頂く予定です。

<会場案内図>

